

令和6年度医療機器安全対策推進部会における活動内容

1. 審議内容

在宅における人工呼吸器の適正使用に関する取組

【背景】

- 当部会では過去より人工呼吸器に関連した啓発資材等を作成して注意喚起を行ってきたが、医療機関でのヒヤリ・ハット事例は継続して発生しており、PMDA等の注意喚起が繰り返行われている。
- 高齢化等の背景より在宅医療の需要が高まっており、人工呼吸器使用者も増加傾向にあるが、公表されているヒヤリ・ハット事例は医療機関からの報告が主であることから、在宅での発生状況は明確になっていない。
- 在宅においても医療機関と同様にヒューマンエラーに伴う事例の発生が予想されることから、アンケートにより発生状況を把握して課題検討を行うこととした。

●令和6年度

アンケートの作成、配布及び回収を行い、収集した情報についての集計を実施

●令和7年度

アンケートの結果を基にしてワーキンググループで課題等の検討を行い、患者や患者家族（介護者を含む）、訪問看護師の参考になる資料を作成する。

2. 今年度の取組

在宅医療現場における人工呼吸器のヒヤリ・ハット事例に関するアンケート実施（資料2-2参照）。

3. 部会等開催状況

部会 2回開催（第1回：7月31日、第2回：12月16日）

ワーキンググループ 1回開催（9月25日）

4. 部会等委員

【医療機器安全対策推進部会】

★：部会長

おおひら しんじ 大平 真司	(一社) 大阪府医師会	はじり まさのり 羽尻 昌功	(一社) 大阪府薬剤師会
おおみち みちひろ 大道 道大	(一社) 大阪府私立病院協会	ひらた まさたか 平田 全孝	(一社) 大阪医療機器協会
きの まさや 木野 昌也	(一社) 大阪府病院協会	まるお あきよ 丸尾 明代	(公社) 大阪府看護協会
たなか かずひろ 田中 一弘	(一社) 大阪府歯科医師会	むらなか ひでき 村中 秀樹	(一社) 大阪府臨床工学技士会
なかた せいぞう 中田 精三 (★)	市立伊丹病院		

【ワーキンググループ】

☆：委員長

きたい しゅうへい 北居 修平	(株) フィリップス・ジャパン	まつもと やすよ 松本 康代	(一社) 大阪府訪問看護ステーション協会
ながはま 長濱 あかし	(一社) 大阪府訪問看護ステーション協会	むらなか ひでき 村中 秀樹 (☆)	(一社) 大阪府臨床工学技士会
ひろざね たかしよし 廣 實 隆 芳	フクダライフテック関西 (株)		(敬称略)